



ふるさと笠松の「ちょっといい話」100号



祝! 100号

平成20年から7年間で
100号を発行しました。



「ちょっといい話」が第100号を迎えました。

記念すべき第1号は平成20年10月27日に発行されました。それから7年間で第100号を発行することができました。年に約14号の発行のペースです。毎号800部ほどを印刷し、40ほどある「まちの駅」や町内の小・中・高等学校、役場、公民館、総合会館、商工会館、福祉健康センター、子育て支援センター、歴史未来館などに配布しています。

もし、身近に紹介したいと思われるちょっといい話がありましたら、中央公民館の道徳のまち事務局までご連絡下さい。(電話388-3926)

これからも皆様の温かいご支援ご協力をいただきまして、第200号を目指してがんばりたいと思います。よろしくお願いいたします。

なお、インターネットの笠松町のホームページを開き、道徳のまち笠松のオレンジ色のバナーをクリックしていただきますと、過去の「ちょっといい話」を読むことができますよ。

あい あい あい

「第2回 会・Eye・挨 ラジオ体操」を実施しました。

8月2日(日)の午前6時15分から、笠松小学校、松枝小学校、下羽栗小学校の3会場で、見出しのラジオ体操が行われました。

この行事のねらいは、三世代の方々がラジオ体操に参加し、地域の子もたちと大人が出会い、目を合わせて挨拶を交わし、顔見知りになることです。そして自然に挨拶が交わせる心温まるよい笠松町をつくるのがねらいです。この行事の主催は「笠松町青少年育成町民会議」と「道徳のまち笠松」です。

まず、主催者より本行事の説明がありました。次に、じゃんけんあいさつゲームとラジオ体操を行いました。じゃんけんあいさつゲームでは「あいさつと名前」を言った後、じゃんけんをして、じゃんけんに何度か勝つと景品がもらえました。

素晴らしい晴天に恵まれ、気持ちよくラジオ体操を行うことができました。たくさんの顔見知りの方ができたので、これからは顔見知りの人と自然にあいさつができることを願っています。挨拶いっぱい・笑顔いっぱいの笠松町をみんなで作っていきましょう。



会・Eye・挨 ラジオ体操の様子



じゃんけんあいさつゲーム



じゃんけんあいさつゲームに勝った子どもたちの景品にしようかな?たくさんあって迷うね。